

学校図書館支援事業10周年!!

『学校図書館支援員だより』中学校の部50号記念!!



水戸市の学校図書館支援事業は2016年(平成28年)4月から始まり、今年の4月でちょうど10年目を迎えました。この10年間で、学校にあるすべての本にバーコードを貼り、パソコンのシステムに本のデータを登録しました。

“税金で買った本”をしっかりと管理できるようにもなり、みなさんが本を借りたり返したりする手続きが、とてもスムーズになったと思います。

整備された図書室をもっと居心地がよくて使いやすい場所にし、一人でも多くの人に本を届けるために、日々「学校図書館支援員」は奮闘しています！



水戸市立〇〇中



〈スマホの時代に、わざわざ本を読む理由〉



みなさんは、「なんでわざわざ図書室や図書館に行くのだろう？ タブレットやスマホがあれば、何でも調べられるし解決するじゃないか」と思ったことはありませんか？

どんなに時代が進んでも、自分の気持ちや思いを伝えるのは「ことば」です。調べる道具がスマホに変わっても、ことばを通して人と人はつながっていくのだと、私たちは信じています。SNS が当たり前になった今の時代、ことばは時として、人を深く傷つける凶器になってしまうことがあります。でも反対に、ことばは心に大きな安心ややすらぎをあたえてくれるものでもあります。

今だからこそ、たくさんの本を読んで、いろいろなことを感じてみてください。そして、本の中から「すてきな言葉」を見つけて自分のものにし、それを上手に使える大人になってほしいと願っています。今回は、そんな「ことば」にまつわる本を紹介します。



『思いはいのり、言葉はつばさ』

まはら 三桃 著
まめふく装画
アリス館

女性だけに読める文字があった！心にしみる物語。



『ビジュアルでつかむ！古典文学の作家たち 紀貫之と』

古今和歌集
川村裕子 監修
ほるぷ出版

1000年残る、すてきな言葉の力。

9月以降の巡回日には、支援員が朝の時間から放課後まで学校図書館におります。みなさんとより多くの時間を共有できるかと思います。学校図書館で待ってます!!

